

対象学年	2 学年	科目名	日本語会話演習 Ⅲ	担当名	山口 亜渚
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	上級文型および待遇表現を使った対人コミュニケーション能力を身につける。
学習内容	日本語学校の日本語の授業の中ではあまり学ばなかったホテルや観光に関する話題、コミュニケーションを上級文型を使って、理解、説明ができるようになるための授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業は復習型の授業です。予習ではなく、授業後にならず新しい言葉や知識を自分で振り返りを行ってください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	「べく」がつく文型の違いを理解する	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
2	特別な状況について説明をする	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
3	N1レベルのアドバイス	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
4	二つの言葉を使う文法で、豊かな日本語を理解する	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
5	N1を文型を使いながら感情を込めた会話をする。	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
6	日本人との会話になるネタを一つ持つ！	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
7	同じような文型をいっきに使えるようになる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
8	自分のメンツを守る！	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
9	無人島を生き抜く	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
10	心と言葉の連携に注目した文型を使えるようになる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
11	いつもとは違った自己紹介で自分を表現しよう	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
12	話し言葉をもっと豊かに	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
13	説明が上手になる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
14	主語に注目してどんどん使おう！	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
15	定期試験		授業1～14で学んだことを復習しておくこと。